

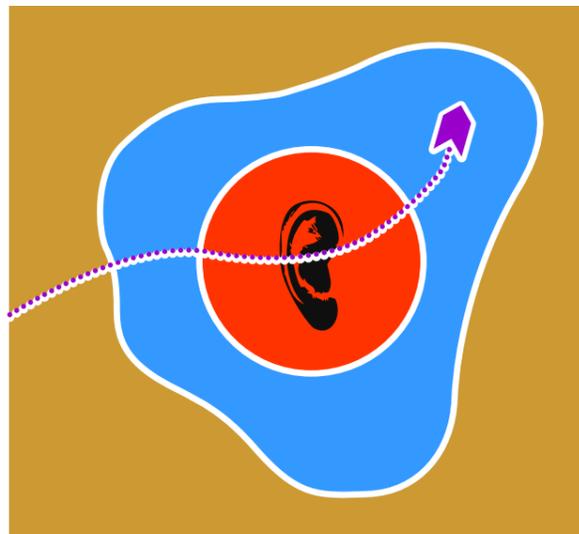
生態園の水辺と照葉樹林内で聞こえる音の比較

(生態園 1991.4-1993.3)

	舟田池	照葉樹林
常聞種	カイツブリ、ヒヨドリ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、イヌ、ヒト	ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ヒト
多聞種	マガモ、カルガモ、コガモ、カモ類水音、ハクセキレイ、モズ、ツグミ、アオジ、カワラヒワ、ムクドリ	キジバト、モズ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、ハシボソガラス、イヌ、昆虫の羽音
少聞種	アマガエル、ウシガエル、ゴイサギ、カモ類の羽音、コジュケイ、キジ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ジョウビタキ、アカハラ、ウグイス、セッカ、シジュウカラ、エンマコオロギ、ミツカドコオロギ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ	アマガエル、コジュケイ、キジ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、セスジツユムシ、エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、カネタタキ
稀聞種	トウキョウダルマガエル、ダイサギ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ニワトリ、コチドリ、ワカケホンセイインコ、イワツバメ、セグロセキレイ、トラツグミ、オオヨシキリ、エナガ、メジロ、カシラダカ、オナガ、タヌキの動作、ハヤシノウマオイ、ヤブキリ、キリギリス、ヒメギス、クビキリギス、ツユムシ、セスジツユムシ、モリオカメコオロギ、クチキコオロギ、マダラスズ、クサヒバリ、カネタタキ、アオマツムシ、スズムシ、カンタン、ショウリョウバッタ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ツクツクホウシ、甲虫の羽音、その他昆虫の羽音	カイツブリ、ゴイサギ、ササゴイ、マガモ、カルガモ、コガモ、ニワトリ、コアジサシ、ドバトの羽音、ワカケホンセイインコ、アオバスク、ツバメ、トラツグミ、オオヨシキリ、セッカ、エナガ、オナガ、タヌキの動作、ハヤシノウマオイ、クビキリギス、カヤキリ、ミツカドコオロギ、モリオカメコオロギ、クチキコオロギ、マダラスズ、シバズ、クサヒバリ、アオマツムシ、カンタン、ショウリョウバッタ、クマゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ、カモ類の羽音、甲虫の羽音、その他昆虫の羽音

この表では、音源の地域属性と聞こえた頻度による音源構成の違いを示しています。

◆ 地域属性 とは ◆ 音源は、調査地点との関係により次の4つに分類されます。



- 現地音源 (赤字) : 調査地点の直接の環境内で発生する音。
- 隣接音源 (青字) : 調査地点の隣り合う質的に異なる環境で発生する音源。
- 通過音源 (紫字) : 調査地点を通過する音源。
- 遠隔音源 : 調査地点と隣り合っていない遠くの音源。

黒字 : 現地および隣接している場所に広く聞こえる音源。

斜体 : 現地でしか聞こえなかった特有の音源。

◆ 聞こえた頻度 ◆

常聞種 : 普遍的に聞こえた音源。全調査日の67%を以上聞こえた音源。

多聞種 : 比較的よく聞こえた音源。全調査日の33~66%で聞こえた音源。

少聞種 : ときどき聞こえた音源。全調査日の17~32%で聞こえた音源。

稀聞種 : ごくまれに聞こえた音源。全調査日の16%以下、聞こえた音源。